

## 「魚津浦の蜃気楼（御旅屋跡）」国の文化財登録記念 特別展「喜見城立つ」を開催します！

令和2年3月10日（官報 号外第45号）、「魚津浦の蜃気楼（御旅屋跡）」が登録記念物（名勝地関係）として、国の文化財登録原簿に登録されました。

これを記念して、登録にあたっての最重要資料である『喜見城之図』や、国内の蜃気楼に関する最古の記述がある『寛文東行記』を展示します。

『喜見城之図』は実際に魚津で見た蜃気楼が描かれたもので、220年の時を経て、初めて魚津に里帰りします。

### 1 開催期間

令和2年5月1日（金）～8月31日（月）  
午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで）

### 2 会場

魚津埋没林博物館 テーマ館1階展示室と3階企画展示室

### 3 料金

埋没林博物館の入館料でご覧になれます。  
一般個人（高校生以上）640円、小人（小中学生）260円

### 4. 展示概要

◆タイトル：「喜見城立つ 殿様も見た魚津浦の蜃気楼、350年のあゆみ」

◆主な展示品（予定）

#### ①『喜見城之図』（金沢市立玉川図書館蔵）

寛政9年（1797）4月に加賀藩主参勤交代の際、出現した蜃気楼を記録。

#### ②『寛文東行記』（同図書館蔵）

寛文9年（1669）に魚津の蜃気楼に関する記述を収録。

国内で発生する蜃気楼を記述した文献として判明している中で最古のもの。

#### ③『鳩巣文集』（同図書館蔵）

室鳩巣（加賀藩に仕えた儒学者）による、魚津の蜃気楼に関する漢詩「早発魚津」を収録。

※①は、5月1日～6月30日、②、③は7月1日から8月31日まで実物を展示。

○その他、魚津浦、蜃気楼、御旅屋などについて、様々なトピックを交えて紹介。地元高校美術部や書道部とのコラボ作品（『喜見城之図』の模写や漢詩のアレンジなど）の展示も予定しています。

## 5. 関連イベント

同館にて、蜃気楼や登録文化財をテーマに特別講演会を展示期間中（5月16日と7月23日）に開催予定。特別講演会の詳細は、5月の記者発表にて行います。



『喜見城之図』

### 担当部署

#### 【特別展に関すること】

魚津埋没林博物館

(館長) 石須秀知

(担当者) 石須秀知、佐藤真樹

電話 0765-22-1049

FAX 0765-23-9105

E-Mail

[nekkolnd@city.uozu.toyama.jp](mailto:nekkolnd@city.uozu.toyama.jp)

#### 【文化財登録に関すること】

生涯学習・スポーツ課

(課長) 政二弘明

(担当者) 塩田明弘、的場茂晃

電話 0765-23-1045

FAX 0765-23-1052

E-Mail [learning@city.uozu.lg.jp](mailto:learning@city.uozu.lg.jp)